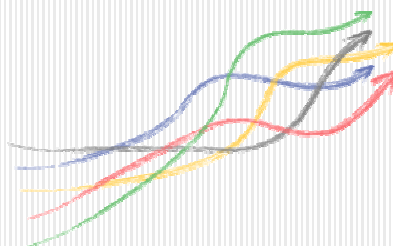


2008年9月期 決算説明会

2008年12月2日
代表取締役社長 廣谷 彰彦



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

プレゼンテーション・アウトライン

I：2008年9月期 業績ハイライト

II：2009年9月期の業績目標

III：さらなる経営強化に向けて

1. 事業領域拡大の方向性
2. 利益体質の強化
3. オリエンタルコンサルタンツGC事業本部設立
4. 国内公共分野の強化
5. シナジー発揮による民間分野の拡大・強化
6. 国内公共/民間/国際分野の3本軸体制へ

IV：質疑応答

2008年9月期 業績ハイライト

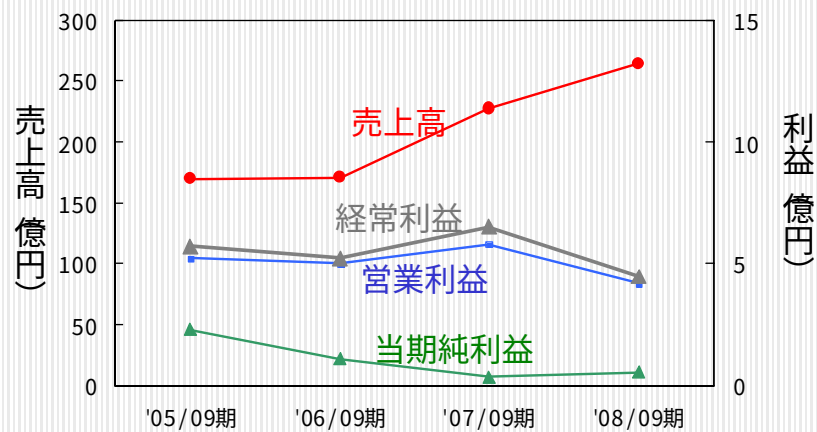


ACKG 5				
2008年9月期 業績ハイライト (売上高、受注高)				
◇売上高は、計画以上に順調に拡大				
(単位: 百万円)				
	前期 '07/09期	当期 '08/09期	増減 対前期比	7月31日 修正予想値
売上高	22,763	26,380	+16%	25,100
受注高	22,834	23,804	+4%	—

ACKG 6				
2008年9月期 業績ハイライト (利益)				
営業利益・経常利益共に減益				
◇ワールドの赤字決算				
⇒営業利益▲111百万円、減損損失70百万円の特別損失				
⇒ワールドとオリエスセンターの合併により経営の効率化を行う予定				
◇道路特定財源問題に伴う発注の遅れ				
⇒生産稼働率の悪化・原価率の上昇				
◇本社移転に係わる特別損益				
(単位: 百万円)				
	前期 '07/09期	当期 '08/09期	増減 対前期比	7月31日 修正予想値
営業利益	586	418	▲29%	350
経常利益	653	445	▲32%	430
当期純利益	36	57	+60%	20

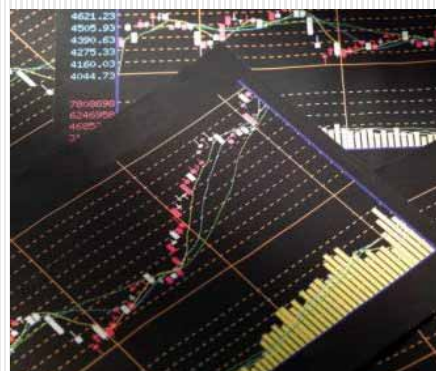
業績の推移

- ◇積極果敢な攻撃経営により売上高は堅調に拡大
◇今後は利益体質の強化が課題



注: '05/09期はオリエンタルコンサルタンツ (連結) の実績

2009年9月期の業績目標



2009年9月期の業績目標

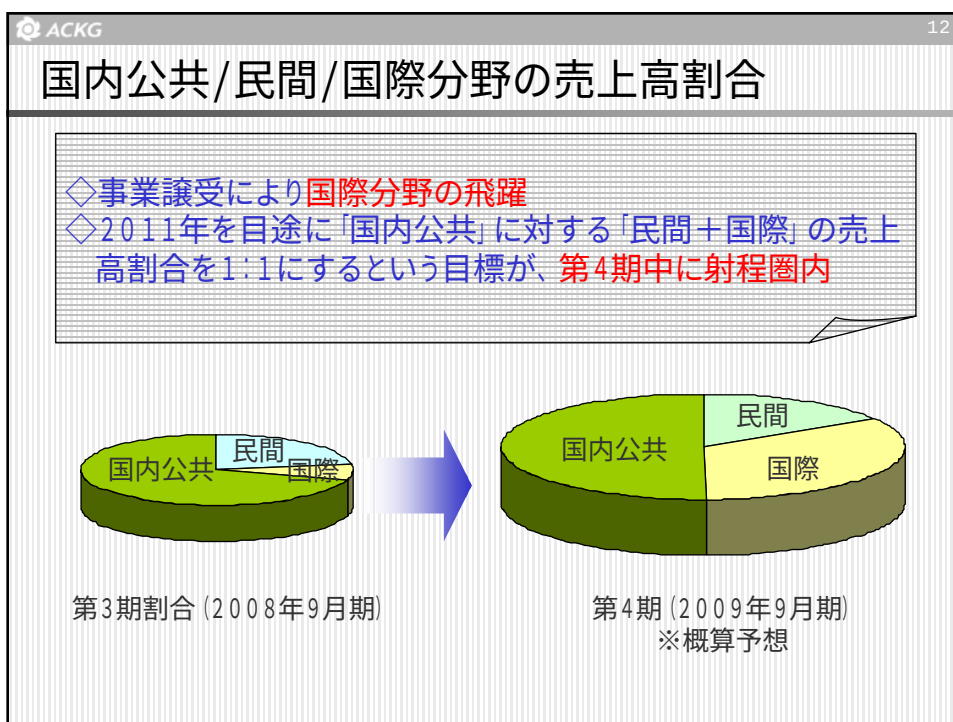
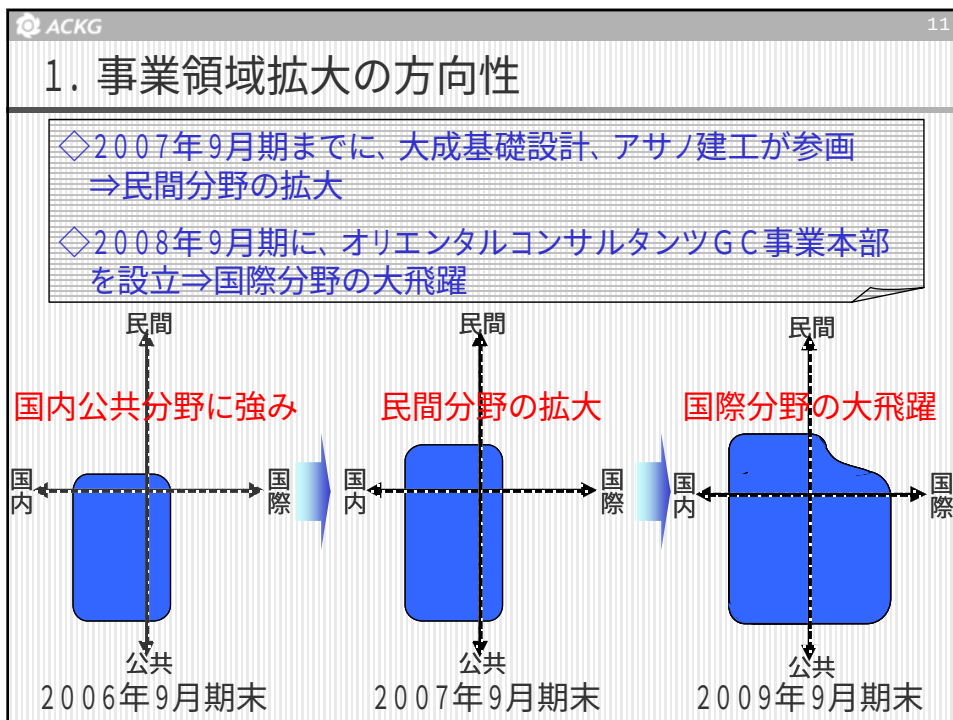
◇パシフィックコンサルタンツインターナショナル (PCI) からの
コンサルタント事業譲受※により**大幅増収**
※稼働中のプロジェクト、人材及び過去の実績・ノウハウを譲受

(単位:百万円)

	第3期 ‘08/09期	第4期 ‘09/09期	増減 対前期比
売上高	26,380	32,000	+21%
営業利益	418	520	+24%
経常利益	445	460	+3%
当期純利益	57	160	+176%

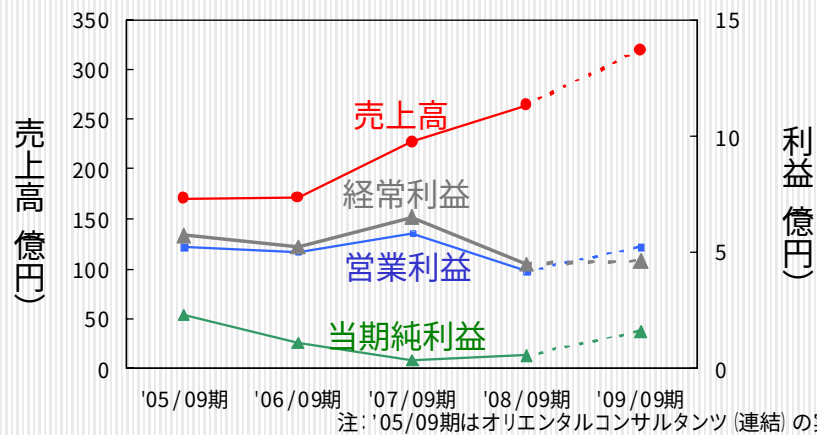
さらなる経営強化に向けて

1. 事業領域拡大の方向性
2. 利益体質の強化
3. オリエンタルコンサルタンツGC事業本部設立
4. 国内公共分野の強化
5. シナジー発揮による民間分野の拡大・強化
6. 国内公共/民間/国際分野の3本軸体制へ



2. 利益体質の強化

◇今後、利益率の向上による強固な経営体制へ



3. オリエンタルコンサルタンツ GC事業本部を設立

◇オリエンタルコンサルタンツは、2008年8月、PCIから海外コンサルタント事業を譲受

⇒従前の国際事業部を発展させ、GC事業本部を設立
GとCにはさまざまな想いを込める

G: Global, General, Green 等

C: Consultant, Creative, Competitive 等

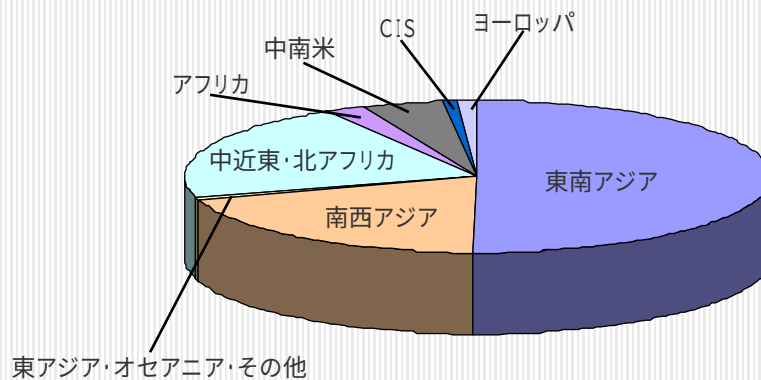
全世界に及ぶ4,000以上の実績

- ◇オリエンタルコンサルタンツGC事業本部は、40年間・140カ国にわたり、約4,200件のプロジェクト実績
- ◇現在9箇所の在外事務所を拠点に幅広い分野のプロジェクトを展開

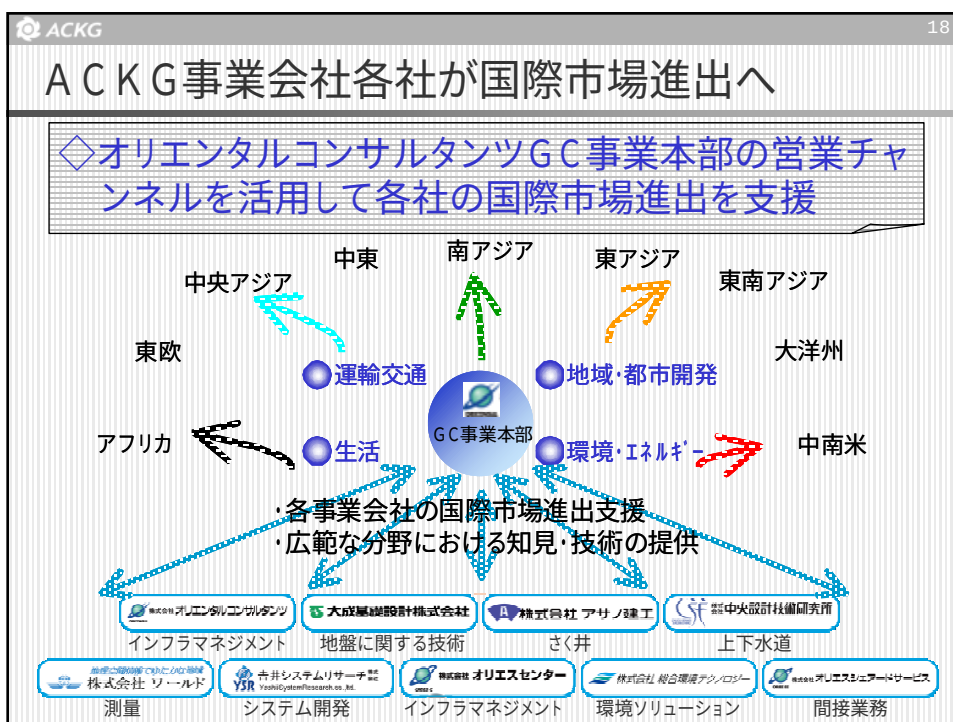
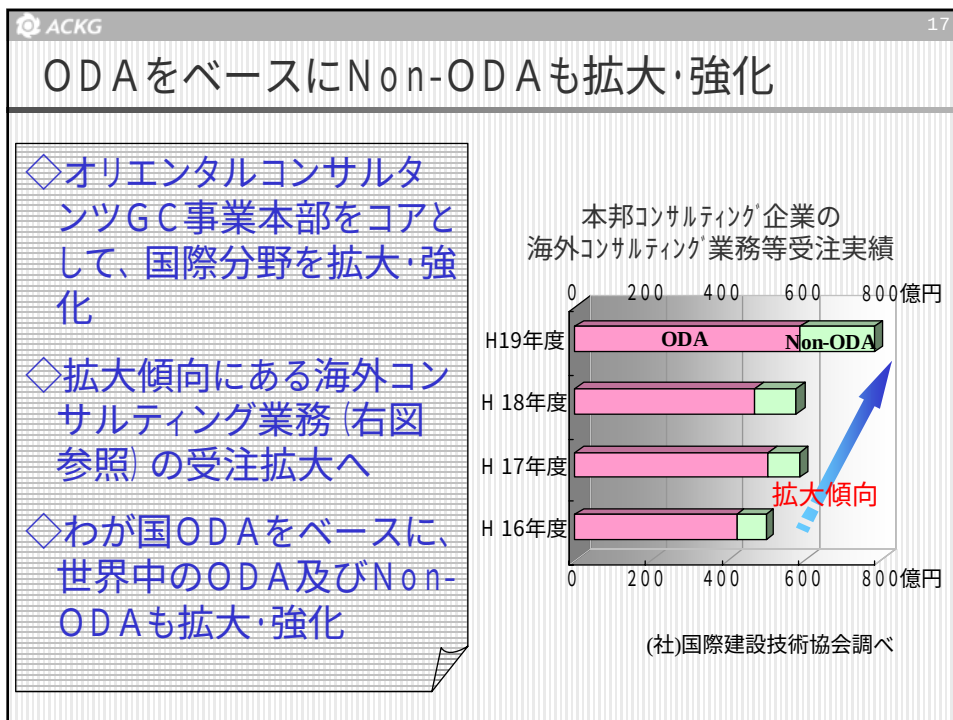


アジアを初めに、さらに拡大へ

- ◇アジアを中心に世界各国で実績
⇒受注対象国・地域が広域にわたるため、ある国・地域での受注が減少したときのリスクが減少



2008年9月期地域別受注金額



プロジェクトマネジメント力

◇国際的ビッグプロジェクトにおけるマネジメント

社会資本整備に関わる政策・施策立案から予算化・事業化、設計、積算、入札補助、施工管理、運営、維持管理にいたるまでプロジェクトの全ての段階でマネジメント



◀ボスボラス海峡横断鉄道建設事業
建設時の共同企業体のリーダーとしてプロジェクトマネジメントを実施。



◀インド・デリー鉄道事業
220万人／日の乗客に対応できる都市交通システムの確立。デリー・メトロ鉄道会社のリードコンサルタント。

変化する世界中のニーズに対応できる技術力

◇今世界中で求められている、食糧、エネルギー、地球温暖化などあらゆるニーズに対応できる技術力

- 生活⇒農業・食糧、河川、上下水道、工業用水等
- エネルギー⇒風力・バイオマス等再生可能エネルギー、火力発電
- 環境保全対策⇒地球温暖化（CDM等）、自然環境、大気汚染、廃棄物等
- 地域&都市開発⇒観光開発、都市計画、建築等
- 交通インフラ⇒道路、鉄道、空港、港湾等



▲農業開発（インドネシア）



▲風力発電（エジプト）



▲バイオマス・CDM（アルゼンチン）



▲マンケローブ保全（オマーン）



▲国家開発マスタープラン（カタール）



▲護岸建設事業（モルディブ）

4. 国内公共分野の強化

◇ACKG基幹企業であり国内公共事業のリーディングカンパニーのオリエンタルコンサルタンツ※は2008年8月にSC事業本部を設立

※建設コンサルタント部門売上高ランキング第4位(日経コンストラクション2008.9.12)

◇SとCにはさまざまな想いを込める

S : Sustainability, Social, Solution 等

C : Consultant, Creative, Competitive 等

◇SC事業本部をコアとして、ACKG全体で国内公共分野の拡大・強化

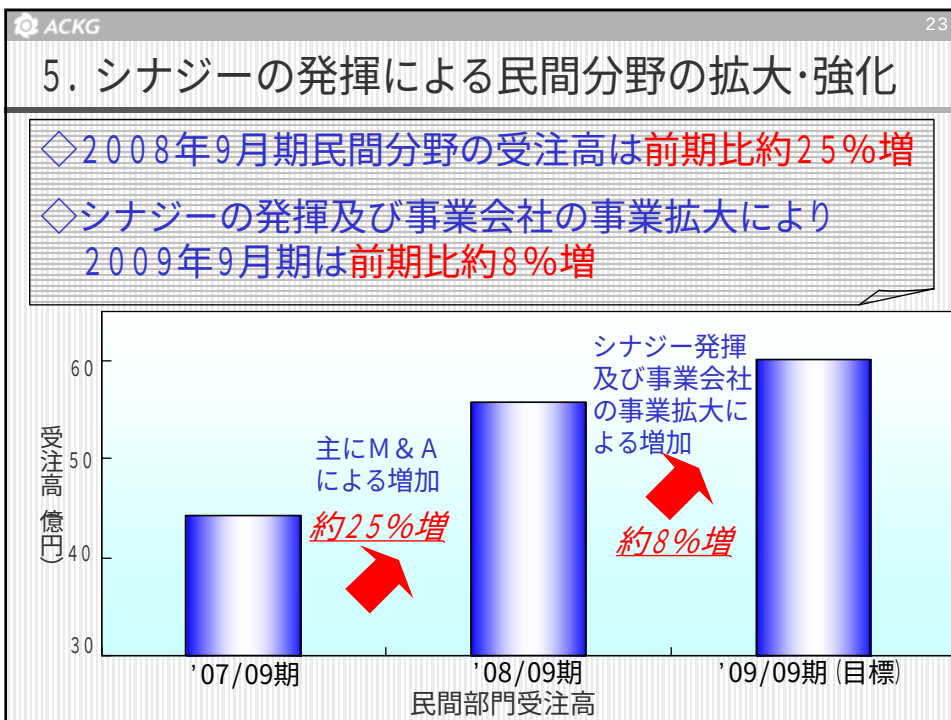
SCとGCの連携によるあらゆる公共分野の強化

◇SC事業本部とGC事業本部の技術・知見の共有

⇒今後ニーズの高まる、環境系(地球温暖化、土壌汚染、自然環境)、空港系、鉄道系、河川・海岸系などの部門の拡大・強化

◇道路部門については、これまで以上にトップクラス※の技術力を強化

※道路部門売上高ランキング第2位(日経コンストラクション2008.9.12)



ACKG 24

民間分野におけるシナジー発揮の事例

◇京浜急行 平和島～大森間立体交差事業

- オリエスセンターと大成基礎設計が連携・受注
- 事業の施工計画、技術支援
- さらに、設計業務を受注し対応中



株式会社 オリエスセンター 大成基礎設計株式会社 ▲平和島・大森間立体交差事業

◇廃棄物処理施設事業申請/計画

- オリエンタルコンサルタンツ、大成基礎設計、オリエスセンターが連携・受注
- さらに別途、設計業務を受注予定

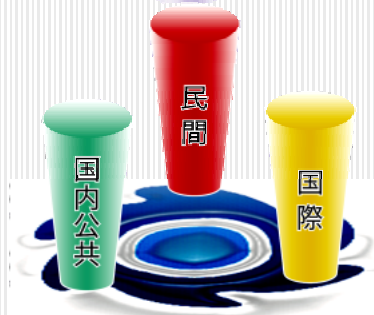
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 大成基礎設計株式会社 株式会社 オリエスセンター

6. 国内公共/民間/国際分野の3本軸体制へ

◇国内公共/民間/国際
分野の3つを軸とし
た体制へ

◇それぞれが強い企業
を目指し、社会の変
化に対応できる強固
なグループへ

ACKGのミッション
「世界の人々の豊かなくらしと夢の創造」
～サービス領域無限大のチャレンジ～



【お知らせ】本社移転について

関東圏内のグループ各社が一つの社屋に集結、フェース・トゥ・
フェースのコミュニケーションを促進



■住所:

東京都渋谷区本町3-12-1

住友不動産西新宿ビル6号館(1～8、14階)

■移転日:

平成20年10月14日



ACKG27



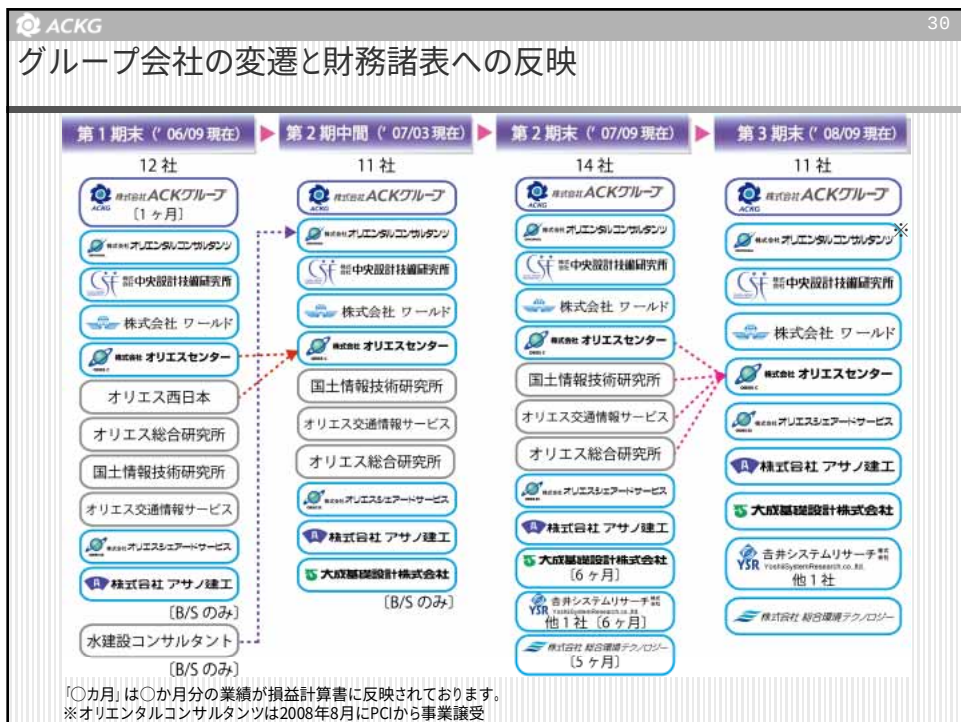
顧客価値の追求を通じ
『世界の人々の豊かな
暮らしと夢の創造』を目指し、
今の業容にとらわれず
サービス領域無限大へ
チャレンジします！

ACKG

質疑応答



APPENDICES



ACKG		31
グループ会社の紹介		
事業会社	業務内容	
 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	デザインソリューション、国土基盤、都市地域、交通、環境、防災、グローバルコンサルティングなど	
 大成基礎設計株式会社	地質・土質調査、環境調査・浄化、構造物調査など	
 株式会社 アサノ建工	さく井工事、地質・土質調査、解体工事、温泉工事など	
 井中栄設計技術研究所	上下水道、廃棄物、環境、情報に関する調査・計画・設計・維持・運営など	
 株式会社 ワールド	測量、写真測量、GIS、補償コンサルタントなど	
 吉井システムリサーチ 株式会社 Yoshi System Research co., Ltd.	システム開発、パッケージソフトウェア販売、ITサービスなど	
 株式会社 オリエスセンター	建設に関する調査・設計・監理、CM/PM、交通関連業務など	
 株式会社 総合環境テクノロジー	循環型社会の形成に向けた廃棄物処理、リサイクル、エネルギーなどの環境ソリューションの提供など	
 株式会社 オリエスシェアードサービス	間接部門業務支援、ITサポート、人材マネジメント、人材派遣など	

ACKG

32

大成基礎設計 誰でも簡単・安全・迅速に現場で土壌汚染調査
-環境省から高評価-

◇環境省主催の検討会で大成基礎設計の技術「水銀フリー・ボルタンメトリー分析計」が選定

◇簡単なボタン操作で、短時間で分析可能

◇独自の技術により有害な水銀を使用しない分析法

◇パソコンの有無に関わらず分析可能

◇鉛、カドミウム、水銀、ヒ素を精度よく分析可能



▲分析計



▲分析の様子

HOT TOPICS

大成基礎設計株式会社

アサノ建工 沖縄の温泉開発 -新たなニーズに対応-

- ◇海外観光客からの新たな温泉開発のニーズに対応
- ◇沖縄県北部の瀬底島、タイガービーチ、いんぶビーチで温泉開発
- ◇1,200m以上の掘削



▲いんぶビーチ（沖縄）の温泉開発

HOT TOPICS

A 株式会社 アサノ建工

オリエンタルコンサルタンツ

自転車を活用したまちづくり-自転車の基幹ネットワークの設定-

- ◇愛知県豊田市において、自転車を活用したまちづくりを提案
- ◇自転車の基幹ネットワークを設定、約5年で完成
- ◇国土交通省のモデル2路線（豊田市停車場線、寺部御立線）では、詳細の計画を提案、測量・設計を実施



▲整備前



▲整備後

HOT TOPICS

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



オリエスシェアードサービス

「経営幹部、マネージャー、人事部向け人材マネジメントセミナー」開催

35

- ◇オリエスシェアードサービスは人材、業務プロセス全般のコンサルティングを実施
- ◇6月26日「女性が活躍できる職場環境作りとは？」と題してセミナーを開催
- ◇約60名が参加
- ◇同社では同種のセミナーを第3期に6回開催



▲セミナーの様子

HOT TOPICS



株式会社オリエスシェアードサービス



吉井システムリサーチ

楽々速's開発-民間企業のJ-SOX支援-

36

- ◇民間企業の内部統制 (J-SOX) 文書整備作業を支援するツールである「楽々速's」の開発・販売
- ◇当初ACKグループからの受託開発として開発⇒パッケージ版として改良、5月から販売
- ◇低価格、操作性が評価されユーザーを獲得



▲イメージ画面

詳しくは

HOT TOPICS



吉井システムリサーチ 株式会社
Yoshi System Research co., Ltd

オリエンタルコンサルタンツ

Viet Traffic 2008 Conferenceへ展示-世界へ交通技術をアピール-

◇2008年10月15～16日
ベトナムで開催のViet
Traffic 2008に出典

◇ナンバープレート読取及び交通
量調査で高評価のOC-i
及びMOVTRAを展示

◇シンガポール、ベトナム、
オーストラリア等の民間
企業が興味



▲展示会の様子

HOT TOPICS



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

オリエンタルコンサルタンツ

GC事業本部 代表的プロジェクト

マレーシア 新クアラルンプール国際空港建設事業 **スリランカ スマトラ沖地震災害復旧・復興事業**



ラオス・タイ 第2メコン国際橋建設事業



タイ レンチャバン商業港建設事業



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

ACKG		39	
連結損益計算書			
		(単位:百万円)	
	前期 ('07/09期)	当期 ('08/09期)	増減額
売上高	22,763 (100.0%)	26,380 (100.0%)	3,617
売上原価	16,281 (71.5%)	19,298 (73.2%)	3,016
販売費・一般管理費	5,894 (25.9%)	6,663 (25.2%)	768
営業利益	586 (2.6%)	418 (1.6%)	▲168
経常利益	653 (2.9%)	445 (1.7%)	▲207
当期純利益	36 (0.2%)	57 (0.2%)	21
受注高	22,834 ----	23,804 ----	970

大成基礎設計及びオリエンタルコンサルタツの事業譲受の寄与

・ワールドの業績悪化
・道路特定財源
・本社移転費用

ACKG		40	
連結貸借対照表			
		(単位:百万円)	
	前期 ('07/09期)	当期 ('08/09期)	増減額
流動資産	8,408 (64.8%)	10,699 (61.5%)	2,291
固定資産	4,559 (35.2%)	6,690 (38.5%)	2,130
資産合計	12,967 (100.0%)	17,389 (100.0%)	4,422
流動負債	5,465 (42.1%)	9,179 (52.8%)	3,713
固定負債	1,294 (10.0%)	2,037 (11.7%)	742
負債合計	6,759 (52.1%)	11,216 (64.5%)	4,456
資本金	503 (3.9%)	503 (2.9%)	0
資本剰余金	751 (5.8%)	748 (4.3%)	▲3
利益剰余金	4,782 (36.8%)	4,798 (27.6%)	15
少数株主持分	311 (2.4%)	320 (1.8%)	9
純資産合計	6,208 (47.9%)	6,173 (35.5%)	▲34
負債・純資産合計	12,967 (100.0%)	17,389 (100.0%)	4,422

事業譲受に伴う完成業務未収入金、未成業務支出金、のれん等の増加

事業譲受に伴う業務未払金、未成業務受入金、退職給付引当金

自己株式の取得、保有有価証券の時価下落により減少

ACKG				41
連結キャッシュ・フロー計算書				
(単位:百万円)				
	前期 ('07/09期)	当期 ('08/09期)	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	713	▲264	▲978	譲受事業の2か月分の運転 資金によりマイナスに 経常に発生する固定資産 の取得、事業譲受による支出、 本社移転に伴う支出、 事業譲受に伴う借入増加
投資活動による キャッシュフロー	▲313	▲1,504	▲1,191	
財務活動による キャッシュフロー	▲704	746	1,451	
現金及び現金同等物 の期末残高	2,133	1,109	▲1,023	

ACKG				42
指標関係 (連結)				
	単位	前期 ('07/09期)	当期 ('08/09期)	
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	6.78	10.33	
自己資本比率	(%)	45.5	33.7	
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	0.6	1.0	
総資産経常利益率 (ROA)	(%)	5.7	2.9	
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	0.44	0.28	

お問い合わせ先



JASDAQ
銘柄略称: ACKG
証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

※住所が変わりました

TEL: 03-6311-6641 (代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 統括管理本部 長尾 千歳

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

**本日は弊社決算説明会に
ご参加いただきましてありがとうございました**